

平成 2 8 年

第 3 回防府市議会定例会

一 般 質 問

6 月 1 6 日（5 人）

1 安村 政治・2 田中 敏靖・3 今津 誠一・4 山下 和明
5 吉村 弘之

6 月 1 7 日（5 人）

6 清水 浩司・7 上田 和夫・8 木村 一彦・9 山根 祐二
10 高砂 朋子

6 月 2 0 日（4 人）

11 三原 昭治・12 久保 潤爾・13 山本 久江・14 田中 健次

6 月 2 1 日（4 人）

15 和田 敏明・16 橋本 龍太郎・17 藤村 こずえ・18 中林 堅造

No.	1	安村 政治
質 問 事 項		要 旨
1 市営住宅の連帯保証人の条件緩和について		(1) 市営住宅設置及び管理条例第 11 条第 1 項第 1 号に定める連帯保証人の要件で、入居決定者と同程度以上の収入を有する者で、市長が適当と認める連帯保証人の「適当と認める」とは具体的にはどのようなことか。 (2) 連帯保証人はなぜ 2 人必要なのか。 (3) 条例では敷金は 3 カ月分だが、家賃 3 カ月未納の場合は退去しなくてはならず、家賃未納の場合は連帯保証人に請求すれば良いわけで、連帯保証人は 1 人でも良いのではないか。 (4) 生活保護世帯は連帯保証人を免除することはできないか。

No.	2	田中 敏靖
質 問 事 項		要 旨
1	都市計画線引見直しについて	市街化調整区域の見直しについて ア 法第34条第11号 50戸以上の連たんの取扱 イ 市街化区域に編入
2	太陽光発電について	設置に関し、一定の法的関与はできないか。 ア 現在の市内における設置の状況 イ 既存設置箇所における苦情はないか。 ウ パネルを廃棄することは可能か。
3	牟礼公民館建替について	水防法の一部改正による具体的な対応策は。

No.	3	今津 誠一
質 問 事 項		要 旨
1 中小企業支援センターの創設		地方創生の主眼は、地域経済の縮小と人口減少の克服とされている。ただ、人口減少は経済が拡大すれば自ずとある程度解消される問題でもある。だとすれば、地域経済の拡大を促す地域産業の振興こそ地方創生の本丸とすることができる。これによって、「しごと」をつくり「ひと」を呼び込み「まち」を元気にすることが正に地方創生の本丸である。 昨年１０月、防府市の総合戦略とその具体策が纏められた。５つの基本目標と８４の取り組みが示されているが、中でも防府市の雇用の９割を占める中小企業の振興こそが防府市再生の鍵となる。よって今後、市内の中小企業をいかに育成するかということを政策の中心に据えるべきである。 今回はその政策の一つとして、既に先進都市において大きな成果を上げている「中小企業支援センター」の創設を提案する。
2 ふるさと納税指定寄附制度の即刻の導入		昨年の１２月及び今年の３月議会においてふるさと納税の積極的活用を提案した。ふるさと納税には大別して一般のふるさと納税と寄附者の意向を尊重して特定の事業に寄附を仰ぐ「指定寄附制度」がある。 一般のふるさと納税の寄附額を増やすには、返礼品の拡充が不可欠と指摘した。これを受けて、商工振興課を中心に返礼品を５０品目に拡充した結果、本年４月中旬には既に昨年の寄附額と同額の寄附が寄せられている。 一方の「指定寄附制度」の導入だが、これまでの回答では「本年６月頃の導入に向けて検討する」ということであつたが、未だにいつ導入するのか、所管の財政課から明確な回答が示されていない。一体何を検討しているのか、どの様な困難な問題が存在するのか全く説明がなく不満が極限に達している。 私が提案した２つの事業に対して、その導入を首を長くして待っている納税者が大勢いる。即刻、制度の導入を決定して欲しい。

No.	4	山下 和明
質 問 事 項		要 旨
1 災害対策について		(1) 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）について ア 防災マップ（土砂災害編）について イ レッドゾーン指定を受けた地域への対応について ウ レッドゾーン内での既存建築物に対する支援について エ レッドゾーン指定の解除について (2) 避難行動要支援者名簿の取扱いについて
2 胃がん予防について		ピロリ菌検査の実施について

No.	5	吉村 弘之
質 問 事 項		要 旨
1	中心市街地活性化計画の策定について	(1) 中心市街地活性化計画を策定した場合の国補助金等の主な事業についてどのようなものがあるのか。 (2) 中心市街地活性化計画を策定できていない主な理由について (3) 今後の中心市街地活性化をどのように考えているか。
2	立地適正化計画について	(1) 立地適正化計画を策定した場合の国補助金等の主な事業についてどのようなものがあるか。 (2) 県内の市町で立地適正化計画の策定を検討しているところはあるのか。 (3) 立地適正化計画策定の検討をしていない理由について (4) 今後のコンパクトシティに向けたまちづくりのビジョンをどのように決めていくつもりであるのか。

No.	6	清水 浩司
質 問 事 項		要 旨
1 災害派遣について		熊本地震派遣職員の現地で得たノウハウの生かし方について
2 指定避難所について		(1) 避難所の運営方法について (2) 停電時の対応について

No.	7	上田 和夫
質 問 事 項		要 旨
1	市の障害児支援に対する取り組みについて	(1) 児童発達支援センターの設置について (2) 発達障害の診断や療育を行う医療機関の設置は？ (3) 「あいサポート運動」の市の取り組み状況は？ (4) 福祉と教育の連携—特別支援学校や特別支援学級、保育園、幼稚園との交流は？

No.	8	木村 一彦
質 問 事 項		要 旨
1 防災について		(1) 自主避難場所及び指定緊急避難場所の指定、あり方について (2) 避難生活の質の抜本的改善策について（熊本の実験をふまえて）

No.	9	山根 祐二
質 問 事 項		要 旨
1 軽自動車税について		(1) 本市の直近年度の軽自動車税の総額とその内訳を伺う。
		(2) 業者が商品として所有する普通自動車は減免措置として年税額の3/12を減免しているが、その理由をどのように考えているか。
2 葬儀所業務について		(3) 軽自動車税は市町が課税徴収する地方税であるが、本市では業者が商品として販売目的で所有する中古軽自動車に、課税免除制度はない。業界団体等から要望のある課税免除措置に対し、どのように取り組まれるか伺う。
		(1) 平成25年4月以前、防府市葬儀所業務の廃止を議論するとき、市の業務一部廃止後、業者が行う業務の料金について、聞き取り等の調査はされたのか。
		(2) 平成25年4月より、市が行う遺体搬送業務は廃止となったが、現在民間が行っている遺体搬送業務等の料金の状況は把握しているか。
		(3) 生活保護者の葬儀については葬祭扶助制度があるが、支給する扶助費用はいくらか。
		(4) 生活保護を受けていない低所得者の葬儀に対して、その相談体制等、市の対応はいかがか。

No.	10	高砂 朋子
質 問 事 項		要 旨
1	障害者差別解消への取組について	(1) 平成28年4月施行の「障害者差別解消法」の趣旨に基づき、①市としての取組、②障害者差別に関する相談・苦情への対応、③市民や企業等に対する趣旨の周知と取組についての理解促進・啓発活動の実施について伺う。 (2) 障害のある人に寄り添い、自発的な支援をされている市民活動団体への支援について伺う。 (3) 視覚に障害がある方のための音声訳の普及啓発について伺う。
2	史蹟を活かした観光事業について	(1) 平成30年の明治維新150年に向け、市の史蹟を活かした取組について伺う。 (2) 完成100周年を迎える重要文化財「旧毛利家本邸」、国指定名勝「毛利氏庭園」をさらに活かし、来訪観光客の増加に繋げていく取組について伺う。
3	ごみ減量化推進事業について	(1) ごみ減量容器等購入費補助金制度の利用状況について伺う。 (2) 生ごみ減量化推進の新たな取組について伺う。

No.	1 1	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1	子育て支援策として、子どもたちが急増している周辺地域への公園、または遊びの広場の設置について	近年、若い世代の方々による周辺地域への住宅建設が増加傾向を見せている。特に、いわゆる農村地域といわれてきた右田や華城、中関などは著しく、ベッドタウン化が進んでいる。 これに伴い、子どもたちも急増しているが、周辺地域には、子どもたちが遊べる公園や場所などがないことから、外で安全に安心して遊べる公園や広場を要望する声が非常に多く、高まっている。 子どもの増加は大変喜ばしいことであり、その子どもたちが健やかに健康に育つよう、体位、体力、心の健全育成にも繋がる遊びの広場、公園の設置に取り組むべきではないか。
2	現庁舎の防災対策について	新庁舎建設計画が進んでいるが、新庁舎建設においては、完成まで相当年数を要することになるが、その間の現庁舎の防災対策は。また、庁舎建設基本構想・基本計画検討委員会においても、委員会の意見をまとめた「新庁舎の建設用地の選定について」の総括及び要望で、同様の対策を求めているが、防災対策の取り組みは。

No.	1 2	久保 潤爾
質 問 事 項		要 旨
1	子育て世帯への経済的支援について	市においては、防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、子育て支援に力を入れておられるが、子育て世帯が利用する市の事業、施設について、経済的支援を行ってみたいかどうか。
2	児童・生徒のスマートフォン、携帯電話等の使用について	近年、児童・生徒のスマートフォン等の所持率は急激な勢いで伸び、その正しい使用について、子ども達の将来のためにもしっかり考えていかなければならないと思われる。以下の点について伺う。 (1) 28年度予算に情報モラル教育に関するものが計上されているが、その取組内容について (2) 「児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」は、どのように活用されているか。また、実効性の検証はされたか。
3	法定外公共物等の機能管理について	法定外公共物等の機能管理については、これまで自治会の取り組みによってなされてきたが、少子高齢化、要望の多様化、地域コミュニティの機能減退等により、これまで通りの取り組みでは今後様々な問題が起きてくると思われる。 市としては、将来的に法定外公共物等の機能管理をどのようにして行っていくつもりなのかを伺う。

No.	13	山本 久江
質 問 事 項		要 旨
1	子育て支援について	(1) こども医療費支給事業の対象を中学生まで拡大することについて (2) 「子育て世代包括支援センター」の設置について (3) 老朽化した児童館への対策について
2	住宅・住環境の整備について	(1) 国は、「住生活基本計画」を閣議決定し、市における計画の必要性を示しているが、市の今後の対応はどうか。 (2) 民間賃貸住宅への住宅確保要配慮者の円滑な入居を促進する「居住支援協議会」の設置について

No.	1 4	田中 健次	
質 問 事 項			要 旨
1	市街化調整区域内の農地について		華城地区懇談会での市長発言について
2	防災について		(1) 学校施設の非構造部材の耐震化について (2) 情報伝達メディアの充実について (3) 防災行政無線屋外スピーカーについて (4) 防災ラジオ無償配布の拡大について

No.	15	和田 敏明
質 問 事 項		要 旨
1 公衆用トイレについて		(1) 公衆用トイレの清掃について ア 公衆用トイレを建設する際に後々の清掃面のことを考えて工夫していることはあるか。 イ 清掃は、いつ誰がどのような対応をされているか。 (2) トイレ内のトラブルについて ア 防府市のトイレ内でのトラブル等はあったか。 イ トイレのドアの開閉の向きはどのようなになっているか。 ウ ボタンで外の人に知らせるためにトイレの屋根に緊急用パトランプを設置することは考えられないか。
2 震災時の現庁舎について		(1) 新庁舎が完成するまでに現庁舎の耐震の範囲を超える地震が発生した場合、来庁者や職員の被害の想定、被害を最小限にするための対策は考えているのか。 (2) 優先業務継続計画で庁舎の全半壊を想定した業務継続計画について本市はどのような状況にあるのか。

No.	16	橋本 龍太郎
質 問 事 項		要 旨
1 こどもの貧困対策について		(1) 他市に比べての防府市の貧困の現状について (2) 防府市の貧困対策の取り組みについて (3) 孤食対策において、今後こども食堂など取り組む予定があるか？

No.	17	藤村 こずえ
質 問 事 項		要 旨
1	東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化について	(1) セルビアのバレーボール男女のチームを誘致した経緯について (2) 大会前後を通じての継続的な取り組みについて

No.	18	中林 堅造	
質 問 事 項			要 旨
1	20年後の市制100周年 に向けての構想について		人口減少・企業誘致・税収の不確実性等、 これからの地方都市の進みゆく方向性は混 んとしている。これから先の見通しをどのよ うに考え、いかにレールを敷いていくか、市 長の考えを聞きたい。
2	観光振興について		(1) インバウンドのための観光案内の表示方法 について (2) 防府天満宮下の電柱の地中化について (3) S53年に発見された奇兵隊の飯場を示す 木片について

